

会議録

会議名	第2回日向市上下水道料金等審議会
開催日時	令和4年2月4日（金）10時から11時
開催場所	日向市役所4階 委員会室
出席者	審議委員12名：出席9名（最終ページに記載のとおり） 事務局：上下水道局長兼水道課長 松尾昇一 水道課 課長補佐 河野雪江、児玉誠一郎 係長 若松陽子、海野靖幸、小野真 主任主事 飯干雄偉
会次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 第1回審議会の質疑について 水道料金の改定について 4. 閉会
資料	1. 第2回日向市上下水道料金等審議会 会次第 2. 第2回日向市上下水道料金等審議会 水道料金改定案 3. 日向市上下水道料金等審議会スケジュール 4. 水道用語集
記録方法	会議内容の要点記録

会議内容

発言者	議題・発言内容
	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 「第1回審議会の質疑について」
会長	続いて会次第の2番、議題の（1）第1回審議会の質疑について、ご質問やご意見はございませんか。
委員	前回、浄水場での見学をさせていただきましたが、一部施設に真新しいものも見受けられましたが、それも含めて改修が必要な現状なのでしょうか。
事務局	権現原浄水場は以前の資料でもお配りしましたが、第1系が昭和44年、第2系が昭和49年、第3系が昭和58年整備となっております。1系と2系につきましては老朽化が進行しており、現在権現原浄水場の更新基本計画を策定しているところです。その計画に基づき、今後、大規模な更新を計画しております。
委員	水道設備関係の更新費用というと水道管等のイメージがありますが、今回は浄水場関係の改修ということで多額の費用が想定されるということでしょうか。
事務局	今回の料金算定の条件として権現原浄水場の大規模更新は費用算定の根拠としておりません。今回のシミュレーションでは老朽管路の更新を大き

	<p>く取り上げており、今後進めていく必要があると考えております。 また、このことにつきましては、本日の説明の中で一部触れておりますので、その際にまたご説明いたします。</p>
委員	<p>これから説明があるということですが、老朽管更新に関してどの程度の支出が見込まれているのか金額だけ教えてください。</p>
事務局	<p>全ての金額の算定はしておりません。水道施設については、新たに設置すると順次更新が必要になりますので、算定の期間中にどの程度の費用が必要になるのかという点でシミュレーションしております。</p>
会長	<p>では、次に水道料金の改定案について、事務局の説明を求めます。</p> <p>「水道料金の改定について」 《事務局より説明》</p>
会長	<p>ここまでの事務局からの説明について、ご意見やご質問はありませんか。</p>
委員	<p>総括原価の考えに基づいて、25%の値上げが必要だと伺いましたが、それでも県の平均未満になると思うのですが、25年間料金改定せずにいたのにこの程度の改定であるなら、4、5年先に再度見直しを見込んでいるのでしょうか。</p>
事務局	<p>前回の料金改定が平成8年ということで25年間改定しておりませんでした。その間水道施設は老朽化が進行しており、水道料金の改定もできていないことから、老朽施設の更新も進んでおりませんでした。特に水道管の老朽化が進んでいることで、その改修が必要になるということからの料金の提案ということになります。</p> <p>また、権現原浄水場の方も老朽化が進行しておりまして、今現在、更新に要する費用を算定しているところですが、これについては、国の求めるところにあるように今後3年から5年のスパンで再度料金を見直し検証することとありますので、権現原浄水場等の更新費用につきましては、次期の料金検証時に費用をシミュレーションしていくことになるかと思えます。</p>
委員	<p>3年から5年の間に料金改定を見込んでいるということですが、県平均未満の料金改定で十分であるということでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の料金算定につきましては、今後10年の管路更新に必要となる費用をまかなっていけるものであると認識しております。3年から5年の間に権現原浄水場の更新費用が必要になるということもありますので、精査しながら検討してまいりたいと思っております。</p>
委員	<p>核家族化により世帯数は増えているかと思いますが、それでも使用水量が減っている原因はわかりますか。</p>
事務局	<p>核家族化ということで世帯数はあまり減っていないという統計もありますが、人口減少に伴って給水収益自体は減少しております。しかし水道管の老朽化等は進行しており、水道施設が減少しないため、今回の料金のご提案ということになっております。</p>
委員	<p>一般家庭では飲み水に水道を使用しない方もいると思いますが、基本料金をもう少し上げてもいいのではないのでしょうか。</p>

事務局	飲用に限らず、水道水の果たす役割があるということで今回の料金算定となっております。
委員	13ミリから25ミリの基本料金が同額となる料金体系ですが、同額で良いのでしょうか。
事務局	基本料金は使う量が少なくても、最低限、水を届けるために必要となる固定費として算定しております。
委員	他の市町村での浄水場の老朽化などを原因として料金改定を予定しているところはあるのでしょうか。
事務局	他の市町村の具体的な情報はありますが、宮崎市や延岡市、門川町が直近で料金改定しており、西都市でも改定を予定しておりますが、他市の事ですので具体的な情報はございません。
委員	資料12ページの従量料金は今回の料金改定で、少ない使用水量での給水原価に対する不足が無くなるのでしょうか。
事務局	今回の料金改定によりまして、基本料金も増額を見込んでおりますので、より給水原価に近づく改定であると見込んでおります。
委員	30ページで毎年の改修費用として7億円を見込んでいますが、減価償却費の根拠として設定されているのでしょうか。 33ページの資産維持費が1.5%となっておりますが、設備が更新されることで維持費は少なくすむように思うのですが、その根拠を教えてください。
事務局	減価償却費については毎年7億円の改修費用を見込んで計上しています。資産維持率は標準で3%となっており、将来の更新を見込んだ積み立てとなっております。権現原浄水場など古い施設があるので、標準の半分である1.5%は確保していきたいということで設定しております。
会長	それでは、ご意見等が出尽くしたようですので、本日は以上で審議を終了します。 スムーズな進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。
	4. 閉会

委員出欠名簿

	氏 名	所属団体等	出欠
1	中村 景子	いすず税理士法人 所長	出
2	本田 信雄	宮崎産業経営大学経営学部准教授	出
3	野中 勇志	宮崎県日向保健所衛生環境課 課長	出
4	三浦 雅典	日向市区町公民館長連合会	出
5	三輪 勝広	日向市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	出
6	海野 千浪	日向農業協同組合 JA 日向女性副部長	欠
7	河野 悦子	日向商工会議所 地域振興課長	出
8	小川 ます子	東郷町商工会 女性部長	欠
9	楠 時子	日向市高齢者クラブ連合会 副会長兼女性部長	出
10	田崎 澄	宮崎県飲食業生活衛生同業組合 日向支部長	欠
11	土持 美由紀	日向市 PTA 協議会 事務局	出
12	桑畑 安恵	日向市母子寡婦福祉連絡協議会	出